

テーマ「地域の未来へクリック！！～寸劇でスマートなスマホライフを～」

実施主体：茨城県立神栖高等学校家庭クラブ

協力団体：神栖市消費者生活センター、茨城県立神栖高等学校演劇部

《取組の概要》

中学生にSNSの怖さや正しい使い方を身につけさせることを目的とし、近隣の中学校でSNSトラブル予防の出前講座を行った。より楽しくわかりやすく伝えるために、家庭クラブがSNSトラブル事例の台本を作成し、本校演劇部が演じた。また寸劇の他に、SNSの画像投稿の危険性について説明した。そして、出前講座の事前事後にアンケート調査を行い、中学生のSNSに対する意識の変化を調べた。

1 本事業に取り組んだ理由(課題を含めて)

近年、若年者におけるSNSトラブルが全国的に増加しており、大きな社会問題となっている。SNSは間違った使い方をすると、人の命を奪ったり、人の心を傷つけたりしてしまう危険な道具となってしまう。以前本校においてSNSに関する意識調査を行った結果、生徒はSNSの危険性に対して自覚が低いことや、まわりの大人と話し合う機会が少ないことが分かった。そこで、高校生だけではなく小中学生の頃からSNSの危険性や正しい使い方についての知識を身につけてもらう必要があると考えた。

2 実施スケジュール

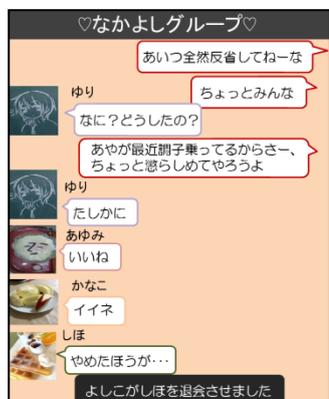
1. 日時：2014年11月4日(火) 14:30～15:20
2. 対象：神栖市立神栖第四中学校1年生(124名)
3. 内容：①寸劇「SNSいじめ」「間違ったつぶやき方」 ②画像投稿の危険性について
③質疑応答 ※事前事後にSNSに関するアンケート調査を実施

3 事業展開

①寸劇によるSNSトラブル事例の紹介・解説

1)「SNSいじめ」

LINEのグループ外しによるいじめの話



2)「間違ったつぶやき方」

個人が特定される写真の投稿により嫌がらせを受けてしまう話



②画像投稿の危険性について

LINEのIDの掲載▶



制服着用での飲酒▶

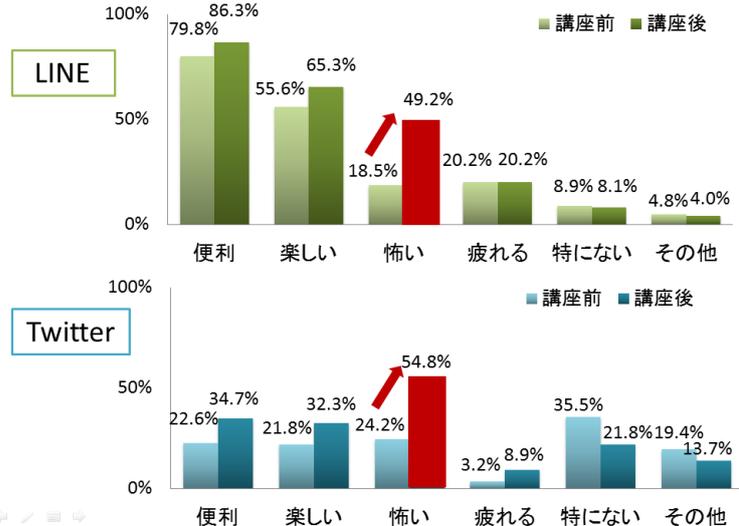


投稿者と友人の成績表▶



4 事業の成果(効果)

出前講座前後におけるLINE・Twitterのイメージ変化



事前事後アンケートで、中学生のLINE及びTwitterに対するイメージの変化を調べた。

講座後、LINEでは「怖い」と回答した生徒が49.2% (30.7%増)、Twitterでは54.8% (30.6%増)であった。LINEもTwitterも「怖い」というイメージを持った生徒が顕著に増加していた。

出前講座の感想について、「寸劇があって楽しかった」と回答した生徒が92.7%、「SNSの怖さや正しい使い方を知り、ためになった」が82.3%であった。

この結果より、中学生に寸劇を楽しんでもらいながら、“SNSは便利で楽しいだけでなく、危険も潜んでいること”を伝えることができたと考えられる。

5 事業を成功させるためのポイント

- ・中学生にとって高校生は年齢が近いので、親近感を持ちながら、自分の身にも起こりうる問題として捉えることができた。
- ・寸劇を取り入れたことや、画像を再現してスライドに表示したことによって、中学生に楽しくわかりやすく伝えられた。
- ・消費者生活センターの方々に協力を得て、家庭クラブ員がSNSトラブルに関する知識を深め、講座の質を高めた。



▲出前講座の様子



▲消費者生活センターの方々との打ち合わせ

6 今後の展開(継続・発展させていくために)

- ① SNS使用における新たな問題を把握して小中高生に伝える。
- ② 自分たちと同じ年齢の高校生に対するふさわしい伝え方を研究する。
- ③ 保護者や教員にSNSに関する知識を持ってもらうように働きかける。

7 その他の活動

〈神栖市立大野原西小学校への寸劇出前講座〉
(2014年11月7日)



▲寸劇「ゲームオーバー」



▲携帯電話の○×クイズ

〈神栖高校でのSNS利用安全教室・ポスター掲示〉
(2014年12月18日)



▲SNS利用安全教室



▲ポスター掲示

8 参考資料等

- 神栖市行政情報誌「広報かみす」(2014年12月15日号)
- 読売新聞[茨城県版](2014年11月5日)
- 茨城新聞(2014年11月7日)
- 朝日新聞[茨城県版](2014年11月6日)